

ふるさと希望指数 (LHI:Local Hope Index)

- ・県では、人々の「希望」につながり「行動」によって達成できる要素を、ふるさと希望指数 (LHI) と決めました。
- ・ふるさと希望指数は、5分野（仕事、家族、健康、教育、地域・交流）、30要素から成り立っています。

仕事

やりがいのある仕事に就き、一定水準の収入を得ることが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 就業している
- 正規の職員・従業員として働いている
- 世帯当たりの収入が高い
- 仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている
- 高齢者も働き続けている
- 仕事や収入などにストレスがなく充足している



家族

お互いに信頼し、支え合うことのできる家族を持つことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 結婚して新しい家族を持つ
- 子どもを持つ
- 家族でコミュニケーションがとれている
- 夫婦のワークライフバランスがとれている
- 高齢者が家族とともに暮らしている
- 家族関係や育児などにストレスがなく充足している



健康

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らしていけることが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 病気やけがなどがなく健康である
- 健康に長生きする
- 健康の維持に努めている
- 子どもの基礎体力が高く元気である
- 高齢者がスポーツに取り組んでいる
- 自分や家族の健康にストレスがなく充足している



教育

学力や教養、社会性や挑戦力などを身につけ伸ばすことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 子どもの学力が高い
- 子どもの道徳心や社会性が高い
- 子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している
- 大学等の高等教育機関で学ぶ
- 高齢者が自己啓発に励んでいる
- 子どもが自分の良さを認識している



地域・交流

地域に魅力（誇り）を感じ、社会貢献活動や地域活動などを通して、地域や他者とのつながりを持つことが、人々の「希望」につながる

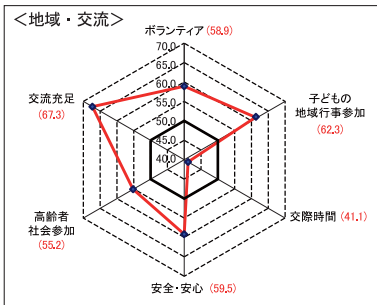
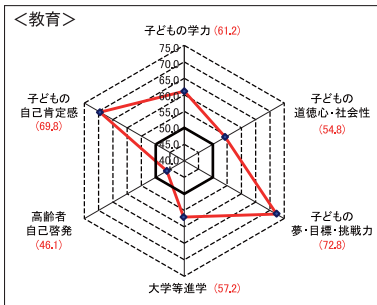
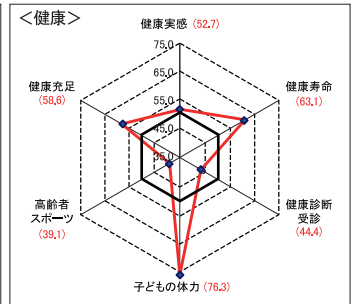
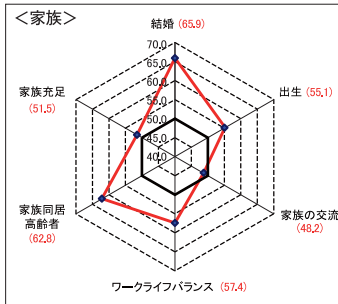
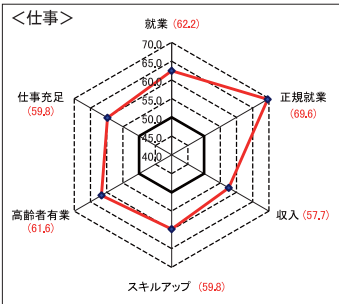
【希望につながる主な要素】

- 社会貢献活動に参加している
- 子どもが地域行事に参加している
- 学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している
- 犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である
- 高齢者が社会との関わりを持ち続けている
- 人間関係や地域の安全などにストレスがなく充足している



ふるさと希望指数 (LHI) 30指標のレーダーチャート (偏差値)

赤線：福井県
黒線：全国 (50)



◆ふるさと希望指数(LHI)を構成する5分野・30要素(福井県)

分野	希望につながる主な要素	参考統計	根拠	評価年	数値	順位					
仕事	就業している	就業率	労働力調査から独自集計	H26	59.5%	5位					
	正規の職員・従業員として働いている	正規就業率	就業構造基本調査	H24	67.3%	1位					
	世帯当たりの収入が高い	実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	家計調査	H26	570.1千円	10位					
	仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている	職業訓練・自己啓発実施率	就業構造基本調査	H24	26.9%	8位					
	高齢者も働き続けている	高齢者有業率	就業構造基本調査、人口推計から独自集計	H24	24.0%	6位					
	仕事や収入などにストレスがなく充足している	仕事充足率	国民生活基礎調査から独自集計	H22	69.2%	6位					
家族	結婚して新しい家族を持つ	結婚率									
		結婚率(男性)	国勢調査を基に国立社会保障・人口問題研究所が算定	H22	84.2%	4位					
		結婚率(女性)			94.4%	1位					
	子どもを持つ	合計特殊出生率	人口動態調査	H26	1.55人	12位					
		家族でコミュニケーションがとれている	子どもの家族交流率								
			家の人と学校での出来事について話をしている(小学)	全国学力・学習状況調査	H27	77.2%	-				
	夫婦のワークライフバランスがとれている	家の人と学校での出来事について話をしている(中学)				76.1%	-				
		家内内ワークライフバランス率									
		共働き世帯割合	国勢調査	H22	36.4%	1位					
		家事時間(男性)	社会生活基本調査	H23	0.37時間	9位					
高齢者が家族とともに暮らしている	3次活動時間(余暇時間)	社会生活基本調査	H23	6.55時間	37位						
	家族等同居高齢者率	国勢調査	H22	89.4%	3位						
	家族関係や育児などにストレスがなく充足している	家族関係充足率	国民生活基礎調査から独自集計	H22	87.0%	21位					
	病氣やけがなどがなく健康である	健康実感率	国民生活基礎調査から独自集計	H25	69.6%	18位					
		健康に長生きする	自立調整健康余命(0歳)								
			自立調整健康余命(0歳)男性	国勢調査を基に[独]福祉医療機構が算定	H20	78.4年	2位				
健康	健康の維持に努めている	自立調整健康余命(0歳)女性			83.4年	6位					
	子どもの基礎体力が高く元気である	健康診断受診率	国民生活基礎調査	H22	62.1%	32位					
		子どもの体力									
		体力合計点(小学:男子)	全国体力・運動能力運動習慣等調査	H27	57.7点	1位					
		体力合計点(小学:女子)			59.9点	1位					
	体力合計点(中学:男子)	45.5点			1位						
	体力合計点(中学:女子)	53.7点			1位						
高齢者がスポーツに取り組んでいる	高齢者スポーツ行動者率(年間)	社会生活基本調査	H23	42.4%	41位						
自分や家族の健康にストレスがなく充足している	健康充足率	国民生活基礎調査から独自集計	H22	86.3%	10位						
教育	子どもの学力が高い	子どもの学力	全国学力・学習状況調査	H27	(偏差値)						
					小学(国語・算数)	60.7	3位				
					中学(国語・数学)	61.7	1位				
	子どもの道徳心や社会性が高い	子どもの道徳心・社会性	全国学力・学習状況調査	H27	人の気持ちがわかる人間になりたい(小学)	94.0%	-				
					人の気持ちがわかる人間になりたい(中学)	96.3%	-				
					人の役に立つ人間になりたい(小学)	94.7%	-				
					人の役に立つ人間になりたい(中学)	95.6%	-				
	子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している	将来の夢や目標を持っている	全国学力・学習状況調査	H27	将来の夢や目標を持っている(小学)	92.3%	-				
					将来の夢や目標を持っている(中学)	83.1%	-				
					将来の夢や目標を持っている(小学)	83.1%	-				
大学等の高等教育機関で学ぶ	大学等進学率	学校基本調査	H26	55.3%	14位						
高齢者が自己啓発に励んでいる	高齢者自己啓発時間	社会生活基本調査	H23	0.1時間	26位						
子どもが自分の良さを認識している	子どもの自己肯定感率	全国学力・学習状況調査から独自集計	H27	自分には、よいところがあると思う(小学)	80.8%	-					
				自分には、よいところがあると思う(中学)	74.8%	-					
				自分には、よいところがあると思う(小学)	74.8%	-					
地域・交流	社会貢献活動に参加している	ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	社会生活基本調査	H23	31.4%	11位					
					子どもが地域行事に参加している	子どもの地域行事への参加率	全国学力・学習状況調査	H27	子どもの地域行事への参加率(小学)	82.9%	-
									子どもの地域行事への参加率(中学)	57.8%	-
	子どもの地域行事への参加率(小学)	57.8%	-								
	学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している	交際時間(15歳以上)	社会生活基本調査	H23	0.28時間	38位					
	犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である	刑法犯認知件数(人口千人当たり)	犯罪統計	H26	6.17件	11位					
交通事故発生件数(人口10万人当たり)		交通事故統計	H26	305.8件	8位						
高齢者が社会との関わりを持ち続けている	高齢者社会参加時間	社会生活基本調査から独自集計	H23	1.2時間	14位						
人間関係や地域の安全などにストレスがなく充足している	交流充足率	国民生活基礎調査から独自集計	H22	90.6%	3位						